

ハートフルデイズ

変額個人年金保険Ⅱ型2003
!特別加算金付最低保証年金特約1015型

株40型

特別勘定の月次運用レポート 2024年2月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクについて

- 本商品は、年金額や解約払戻金額等がファンド(特別勘定)の運用実績に基づき変動するしくみの変額個人年金保険です。
- ファンド(特別勘定)の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあり、ご契約者はこれらの投資リスクを負うこととなります。
- したがって、運用成果によっては、お受け取りになる年金や解約払戻金等の合計額が、一時払保険料の額を下回る場合があり、損失が生じるおそれがあります。

ご契約者が負担する費用等について

ご契約期間中には、以下の費用をご負担いただきます。

- 契約初期費用 :なし
- 保険契約関係費用 :資産残高に対して年率2.36%(消費税対象外)
- 運用関係費用 :信託財産に対して年率0.33%(税抜0.30%)程度
- 年金管理費 :受取年金額の1.0%(消費税対象外)
- 解約時費用 :ご契約日(増額日)から7年未満の解約・一部解約では、解約控除対象額※の最大7%が解約控除額として差し引かれます。
- 本商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費」)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約時費用」がかかります。

※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。

ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

(管)ORI-118

市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	7.94%	16.96%	20.07%	42.71%	35.21%
	TOPIX(東証株価指数)	4.89%	12.67%	14.74%	34.24%	43.51%
日本債券	NOMURA-BPI総合	0.32%	0.01%	▲ 0.23%	▲ 0.72%	▲ 4.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	4.71%	12.85%	14.32%	34.84%	73.35%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	1.24%	3.10%	5.53%	15.39%	17.55%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	2.11%	2.45%	3.06%	10.52%	41.81%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移



※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

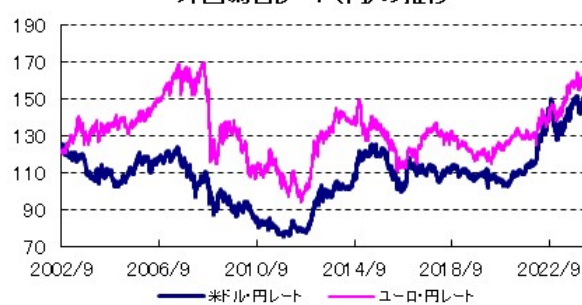


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界アセットO2 DI	●	●	●	●	DIAMグローバル・アセット・ バランスVA2*	アセットマネジメントOne株式会社	97.4%	2.6%	686

* 適格機関投資家専用を設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
DIAMグローバル・アセット・ バランスVA2*	当ファンドは、国内債券、国内株式、外国債券、外国株式へ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。株式と債券の配分比率はそれぞれ40%、60%とします。各資産の運用は、指数に連動するインデックス運用を行います。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行います。

* 適格機関投資家専用を設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.48%	4.33%	4.33%	10.25%	7.16%	29.64%

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット02 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・アセット・バランスVA2 (適格機関投資家限定)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

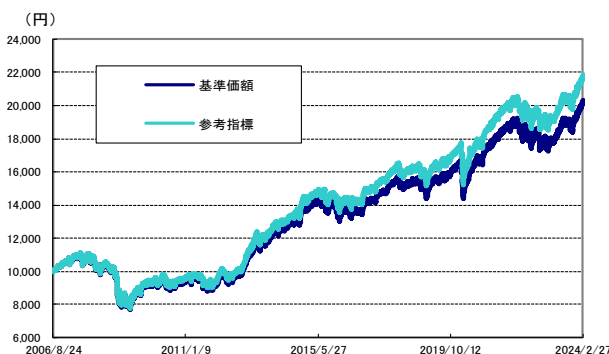
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

当ファンドは、国内債券、国内株式、外国債券、外国株式へ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。株式と債券の配分比率はそれぞれ40%、60%とします。各資産の運用は、指数に連動するインデックス運用を行います。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行います。

2024年2月末までの運用経過

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



当月末基準価額・純資産総額

基準価額	20,255 円
解約価額	20,255 円
純資産総額	669 百万円
設定日	2006年8月25日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	1.72%	5.07%	5.72%	13.23%	15.57%	31.77%	102.55%
参考指標	1.76%	5.17%	5.93%	13.72%	16.77%	34.72%	118.21%
差	-0.05%	-0.10%	-0.22%	-0.49%	-1.20%	-2.95%	-15.66%

分配金情報(税引前)

※直近3年分

第15期 (2021.06.22)	0 円
第16期 (2022.06.22)	0 円
第17期 (2023.06.22)	0 円
設定来累計分配金	0 円

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内株式	10.0%	10.0%	-0.0%
国内債券	24.8%	25.0%	-0.2%
外国株式	31.0%	30.0%	1.0%
外国債券	34.4%	35.0%	-0.6%
現金等	-0.2%	0.0%	-0.2%
合計	100.0%	100.0%	-

※計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり現金等の比率がマイナスになる場合があります。
※各資産の組入比率は、先物を含んだ実質組入比率。
※外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて組入れる外国株式の相当額については、原則として為替ヘッジを行います。なお、為替ヘッジに伴う評価損益は現金等に含まれます。
※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット02 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・アセット・バランスVA2(適格機関投資家限定)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

当ファンドは、国内債券、国内株式、外国債券、外国株式へ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。株式と債券の配分比率はそれぞれ40%、60%とします。各資産の運用は、指数に連動するインデックス運用を行います。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行います。

各資産毎のポートフォリオ状況

(注)各比率は、各マザーファンドにおける資産毎の時価総額に対する比率です。従って、DIAMグローバル・アセット・バランスVA2における組入比率とは異なります。

国内株式

組入上位5業種(東証33業種分類)

(単位:%)

No.	業種	組入比率	ベンチマーク	差
1	電気機器	17.47	17.47	0.00
2	輸送用機器	9.37	9.37	0.00
3	情報・通信業	7.53	7.53	0.00
4	卸売業	7.31	7.32	-0.00
5	銀行業	7.31	7.31	0.00

※株式には新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

組入上位5銘柄

No.	銘柄	業種	組入比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.24
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.44
3	ソニーグループ	電気機器	2.41
4	東京エレクトロン	電気機器	2.06
5	キーエンス	電気機器	1.85

(組入銘柄:2147銘柄)

*ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

外国株式

組入上位10カ国

No.	発行国	組入比率
1	米国	72.85%
2	英国	3.69%
3	カナダ	3.29%
4	フランス	3.12%
5	スイス	3.02%
6	ドイツ	2.39%
7	オランダ	2.03%
8	オーストラリア	1.96%
9	アイルランド	1.91%
10	デンマーク	1.00%

※株式には新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

組入上位5業種

No.	業種	組入比率
1	ソフトウェア・サービス	10.40%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.13%
3	半導体・半導体製造装置	7.90%
4	資本財	6.97%
5	金融サービス	6.83%

組入上位5銘柄

No.	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.86
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	4.79
3	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.24
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売	2.71
5	META PLATFORMS INC	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.82

(組入銘柄:1255銘柄)

国内債券

組入全セクター

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	84.80%	84.81%	-0.01%
地方債	5.36%	5.99%	-0.62%
金融債	0.30%	0.30%	-0.01%
政保債	1.18%	1.27%	-0.10%
社債	7.16%	6.04%	1.12%
円建外債	0.07%	0.28%	-0.21%
MBS	1.12%	1.24%	-0.12%
ABS	0.00%	0.06%	-0.06%
合計	100.00%	100.00%	-

※国債には、債券先物(10年物)が含まれる場合があります。

ポートフォリオの状況

	マザーファンド*	ベンチマーク	差
平均複利回り	0.70%	0.70%	-0.00%
平均クーポン	0.67%	0.78%	-0.10%
平均残存期間	9.97	10.12	-0.15
修正デュレーション	9.11	8.82	0.29
(先物等ヘッジ込み)	9.11	8.82	0.29

※国内債券マザーファンド(国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド)の現金等を含みます。(組入銘柄:662銘柄)

*ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

外国債券

組入上位10カ国

No.	発行国	マザーファンド*	ベンチマーク	差
1	米国	47.38%	46.87%	0.50%
2	中国	8.42%	8.83%	-0.41%
3	フランス	8.13%	8.10%	0.03%
4	イタリア	7.36%	7.37%	-0.01%
5	ドイツ	6.35%	6.29%	0.05%
6	英国	5.20%	5.17%	0.02%
7	スペイン	4.87%	4.83%	0.04%
8	カナダ	1.99%	2.02%	-0.03%
9	ベルギー	1.74%	1.77%	-0.03%
10	オランダ	1.46%	1.47%	-0.02%

ポートフォリオの状況

	マザーファンド*	ベンチマーク	差
平均複利回り	3.78%	3.81%	-0.03%
平均クーポン	2.35%	2.46%	-0.11%
平均残存期間	8.12	9.12	-1.00
修正デュレーション	6.38	6.58	-0.21

※外国債券マザーファンド(外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド)の現金等を含みます。(組入銘柄:884銘柄)

*ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本・ヘッジなし・円ベース)です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット02 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・アセット・バランスVA2 (適格機関投資家限定)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

当ファンドは、国内債券、国内株式、外国債券、外国株式へ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。株式と債券の配分比率はそれぞれ40%、60%とします。各資産の運用は、指数に連動するインデックス運用を行います。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行います。

今月のコメント

【国内株式】

国内株式市場は上昇しました。月前半は為替が円安に進んだことや内外企業の決算が好感されたことなどを背景に上昇しました。その後も、米半導体大手の決算が好感されると半導体関連銘柄が牽引し、国内株式は上昇しました。

【国内債券】

国内債券市場では、10年国債利回りは小幅低下しました。月前半は米長期金利の上昇や日銀による早期の金融政策正常化観測の後退などが交錯した結果、横ばいで推移しました。その後は、米長期金利低下につられて低下し、前月末比で小幅低下しました。

【外国株式】

外国株式市場は米欧とも上昇しました。月前半は堅調な経済指標や米大手ハイテク企業の決算が好感されたことなどから上昇しました。後半も米半導体大手の決算が好感されたことや長期金利の上昇が一服したことなどから、外国株式は上昇しました。

【外国債券】

外国債券市場では、10年国債利回りは米欧とも上昇しました。月前半は堅調な経済指標を背景にFRB(米連邦準備理事会)による早期利下げ観測が後退したことなどから、米欧とも上昇しました。下旬はもみ合う展開となり、前月末比で上昇しました。

【為替】

ドル/円相場は、堅調な経済指標などを受けて米長期金利が上昇し、内外金利差が拡大したことなどから円安ドル高となりました。ユーロは対ドルで横ばいとなり、円に対してはユーロ高となりました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。